

飛田雄一

姫路・福知山・京都への「ICOCA 旅」

JR 遠回りの旅<その 1 >



鉄ちゃんの師匠・溝口駅長の本／六甲道から出発です



姫路駅のかっこいい蕎麦屋さんです／こんな駅弁をかってしました

六甲道発、住吉着。JR 遠回り。行ってきました。快晴、快適、大満足。

朝10時から夕方6時。7時間の旅でした。(2025年10月23日)
料金は、150円。JRさん、ありがとうございました。感謝です。

例えば鶴橋から桃谷への切符を買って、大阪、福島、天王寺経由で鶴橋に行く。環状線を一回りしてもOK。鶴橋・桃谷の料金でいい。

兵庫では、加古川線が有名だ。

六甲道・住吉の切符を150円で買う。

その切符で、六甲道、加古川、谷上、篠山、尼崎、住吉と回る。

桜の季節には、とくに人気があるそうだ。

さらに、ICOCAカードでも、それがOK。カード利用できる駅のあいだではOKとのこと。

私の「鉄ちゃん」師匠・「溝口駅長」が教えてくれた。

駅長の冊子『JR大回りの教科書』を愛読している。

(無料ですが、コピー希望者は、溝口駅長のホームページ
<https://noritetsu.net/omawari/>で正式に申し込んでください。)

それによると、先の加古川線より更に大回りできること。

いずれにしても、路線の「一筆書き」が必要だ。

一か所でも交差してはいけない。

六甲道、姫路、和田山、福知山、園部、京都、大阪、住吉でトライした。

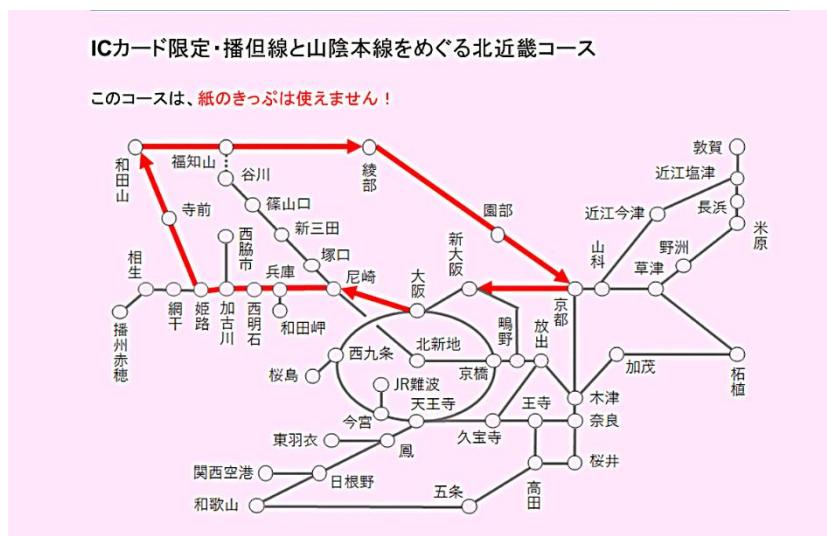
完走した。問題なかった。うれしい。

溝口駅長の冊子に、モデルコースとして紹介されている。大阪発、新大阪着。

大阪、神戸、姫路、和田山、福知山、園部、京都、新大阪のコース。

下図の赤いコースだ。

私は、このコースを、六甲道発、住吉着でトライした。



この赤いコース、六甲道よりスタートして住吉に帰ってきました

でも、いざ実行となると不安になった。1か月ほど前に六甲道で聞いた。

「大丈夫ですよ。住吉駅で出るとき、時間がかかっているので、遠回りしたことを言った方がいいですよ」とのこと。
OKなのだ。安心した。

同冊子には、「大回り乗車は不正乗車ではありませんが、歓迎される乗り方ではないことも確かです。少額の運賃で長距離を乗せてもらうわけですから、JRに感謝するとともに、駅員、車掌に迷惑をかけないようにマナーを守って楽しんでください」とある。

ネットおよび時刻表で計画をたてた。以下のとおりだ。

六甲道 1015発

三宮 1019着、1023発

姫路 1103着、1132発

寺前 1213着、1248発

和田山 1340着、1354発

福知山 1436着、1453発

園部 1614着、1617発

京都 1653着、1659発

芦屋 1743着、1745発

住吉 1752着。

六甲道から乗車した。ワクワクだ。

ウォークマン (KENWOOD)、新聞、雑誌、本をもちこんだ。

サンドイッチもつくった。保温ボトルにスープもいれた。

姫路に着いた。ホームに、かっこいい蕎麦屋がある。
食べたかったが、まだ早いのでバス。

姫路から播但線に乗り換える。専門の改札がある。
が、そこに ICOCA カードを入れてはいけない。
遠回りしていることを告げると、そのまま通過できた。
サンドイッチを持参しているのに、「地球の歩き方・兵庫弁当」を
買ってしまった。
1480円。ふんぱつした。

播但線は、すてきな田園風景がひろがる。
柿が実もたわわだ。このあたりは熊がでないのでそのままなのか。
これが平和な風景なのかと思った。昨今の熊はほんとにかわいそ
うだ。

柿をたくさんとって、たくさん干柿を作りたい。
私は、皮をむくのが好きだ。

寺前駅に着いた。ここで待ち時間35分。
駅のベンチで弁当を食べようと思っていた。
が、すでに和田山行きの列車が入っている。
4人ボックス席の列車ですいている。
さっそく、乗り込んで兵庫弁当を食べた。おいしかった。

生野峠を越える。生野峠は、サイクリングでは難所。

以前、慈（うつみ）憲一さんが、姫路・城崎のサイクリングを行った。

元気組は姫路から。次のグループは福崎から。

私は、播但線の最高峰・生野からの出発だった。

快適なサイクリングだった。

和田山に着く。トイレが、改札の外にしかない。

訳をいうと、通してくれた。やさしい。

福知山に着いた。かわいいお城が見える（失礼しました）。

福知山教会で、叔母・飛田悦子さんが牧師をしていたことがある。

（『叔母・飛田悦子—その牧会人生—』を今年作った。）

<https://ksyc.jp/mukuge/hida-etuko4.pdf> 好評発売中？）

福知山から京都の山陰線、快速電車に乗った。

この路線、初めてだ。たぶん。

駅名になじみがない。

そして、京都。そして、住吉。

本を読んだり、CDを聞いたり。

新聞は2紙買ったのに、1紙しか読めなかった。

立川志の輔も2席、聞けただけだ。

住吉で、遠回りの旨を伝える。

カードを点検して、「150円分だけいただきます」とのこと。
もちろん、異存はない。

あとで、ICOCA カードの履歴を調べてみた。

「入場六甲道」「窓消住吉」「窓精住吉 150」とあった。

遠回り、おもしろい。やみつきになりそうだ。

溝口駅長の「北近畿コース」お勧めの次のコースは、ぜひ、行きたい。

- ・ 大阪発、福島着、「広大な琵琶湖を眺め、伊勢路をまわるコース」 6時間37分
- ・ 新大阪発、大阪着、「万葉まほろば線と和歌山線をまわるコース」 6時間06分

東京圏もすごい。行きたい。

- ・ 東京発、秋葉原着、「房総半島をぐるり！ 海景色満喫コース」 7時間31分
- ・ 東京発、秋葉原着、「鶴見線と西関東をまわる小一日コース」 7時間08分



サンドイッチとスープジャー／ICOCA の利用履歴

今回、兵庫駅弁を買ってしまったので、自作のサンドイッチを家までもってかえってしまった。次回は、気をつけたい。実は、スープジャーも忘れていたのだ。反省。

飛田雄一

姫路・福知山・京都への「ICOCA 旅」

JR 遠回りの旅＜その1＞

2025年10月25日発行

執筆・編集・印刷・発行 飛田雄一（ひだ ゆういち）

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 4-3-18-205

e-mail hida@ksyc.jp
